



こおりまち

議会だより

VOL.

144春号

令和8年
5月8日発行



子どもを大切にするまちづくり

桑折町立醸芳幼稚園修了証書授与式 令和8年3月18日(水)

みらいの桑折町を創る子どもたちのために、令和8年度当初予算が可決しました。

主な内容

- 特集 町民の声 ②
- 令和8年度 施政方針への質問 ④
- 一般会計予算への総括質疑 ⑥
- 11名の議員による政策提案 ⑫



桑折町議会ホームページへ

可決 (賛成8 反対3)

令和8年度一般会計当初予算

66億7,410万円

「みんなが幸せを実感できる元気なまち」



詳細は、広報こおり
令和8年度予算特別号
をご覧ください。

特集 令和8年度施策方針への町民の声

令和8年度各方針には、多くの事業があります。各項目一つに絞り、町民の皆さんへインタビューしました。町民の声として、まとめさせていただきましたので、ご覧ください。

方針1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

◎「桃」生産農家の栽培支援の強化
Q これからの農業は？

地域おこし協力隊を卒隊し、桑折町永住を決め先輩方にお世話になりながら農業に本格的に取り組んでいます。今年は、桃の生産とともに米作りに挑戦します。みなさまのご理解とご協力をお願いします。



坂田 星成 さん

方針2 危機管理に備えた安全安心のまちづくり

◎地域防災力のさらなる強化
Q 地域防災に求めることは？

親子で消防団に所属し日頃から地域の安全を守る活動に従事しています。最近の火災は人的要因が多く夜警にも力が入ります。災害を想定した避難訓練はチームプレーが肝心ですから率先して参加しています。



紺野清隆さん 龍汰さん

方針3 暮らしと自然が調和した豊かさを 実感できるまちづくり

◎脱炭素社会の実現 住宅用太陽光発電設備等補助
Q 設置後のご感想は？

ソーラーパネル・蓄電池の設置助成ありがとうございました。曇りの日でも1kw/h発電します。年中快適な生活です。これからさらに再エネが普及していくことを願っています。



加藤やよい さん



大槻 純子 さん

方針4 健康長寿で元気なまちづくり

◎官民連携の健康づくりを一層強化
Q お元気ですか？

食生活改善会員の活動を通じて、食事や運動、社会参加の重要性を学び実践しています。地元公民館で週1回開催される、いきいき百歳体操は体力づくりと仲間との交流が楽しく、元気一杯です。

方針5 子どもを大切にすまちづくり

◎新たに「5歳児健康検査」を実施
Q 子育て支援に期待することは？

給食無料や制服支給は本当にありがたいです。給食の質や量はこれからも十分であってほしいです。5歳児健診や幼稚園の情報提供、義務教育学校の分かりやすい説明にも期待しています。



菊田美奈子 さん 勇人 さん

方針6 交流で絆を育むまちづくり

◎(仮称)歴史観光交流センターの建設
Q 新しい施設への期待は？

子どもたちが行きたくなる科学実験などの体験イベントや、作品展示があると良いと思います。子ども会の集会利用やマルシェ開催も期待します。桃の販売や料理提供、スタンプラリーで来訪者を案内し、町内外から多くの人が集まる場になってほしいです。



小熊 麗 さん 大晴 さん 彩心 さん



施政方針への質問

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

農業後継者問題について
担い手確保にむけ 検討したい

川村 滋道 議員

「桃」は生産農家の栽培支援や地域おこし協力隊に対する援助があり、販売強化と消費拡大でこの分野は順調に推移と
思うが米栽培農家からは「昨年やっと30kg引き渡し価格が1万5千円で一息ついた」このままの価格なら

何とか稲作を継続できるかなど、しかし年々高齢化が進行し近所でも「あと10年の内に手を打たないとこの辺は耕作放棄地になりかねない」との声を聴くがどうか。

答 農家の跡取り問題や法人化で頑張っている稲作農家も多く委託を受けて一杯の状況で頑張っている事は承知だ。新たな担い手確保に向け検討をしていきたい。



半田山の魅力発信の新規事業について
四季折々のイベントを実施する

石幡 政子 議員

半田山の魅力ある四季折々の自然を、様々な企画事業を通じて発信していくとあるが、新年度においては新たな企画を考えているか。また、山間部における熊対策について

答 「半田山自然公園」あり方検討委員会において示された、自然を体感できる安らぎと感動の空間というテーマで企画事業を進めていく。また、秋には「県北地方植樹祭」が実施されることもあり、多くの方に来ていただけるよう魅力を発信していく。熊対策については注意喚起に尽力する。

4 健康長寿で元気なまちづくり

付加価値を付けた有機野菜作りを
皆が作る 住民運動になれば

川名 静子 議員

「桃」に特化せず新たに桑折ブランドとなる付加価値を付け、こだわりの土づくりによる有機農産物、伝統野菜への取り組みは、食育にも繋がりに元気が町民が増え町をアピールし「日本一健康なまちこおり」を目指す上で必要では。

答 ブランドとなる付加価値を付けた有機野菜となれば健康にも良い。野菜系統ならば産品の開発、作付け等可能性はあるし知恵を絞れば考えられる。健康・食・農産物と地域おこしになり体に良い産品をみんなが作れる環境を広めていく住民運動となれば、目指すべき「日本一健康なまちこおり」になる。

り、町民生活に影響がないと考えている。

町内会から寄せられている要望箇所については、町として状況を把握したうえで、予算査定の中で優先順位付けながら対応している。その中でまだ足りないというのであれば、さらに、一歩踏み込んでいくように考えていく。

3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

道水路並びに橋梁の維持管理は
一歩踏み込んで 考えていく

鈴木 隆志 議員

道水路並びに橋梁は、町民の日常生活や農業活動を支える重要な

社会基盤であり、町内会からの要望や町によるパトロールの結果を今後の維持管理にどのように反映させていくのか。

答 生活用道水路については、町民の生活に不便をきたすことのないよう維持管理に努めてお

5 子どもを大切にすまちづくり

「桑折ならではの教育による学力向上とは
集中心と基礎学力を 高めていく

半沢 正保 議員

「桑折ならではの」の教育により学力を向上していくと述べられた。前年度までの本町学力の実績評価及び費用対効果もふまえ、本当に実現可能であると考えた主な根拠を伺う。

答 東北大学加齢医学研究所 川島隆太教授の脳科学理論をふまえ、音読による脳の活性化及び集中力の高揚。さらには、陰山メソッドの百ます計算などを通して、学びの基礎を10年以上強化してきた。また、幼稚園の園児のため町ALITを派遣し、英語教育に重点をおき、中学生へはAI発音練習等に取り組みさせる。「桑折ならではの」の教育により豊かな人間性と学力を育んでいく。

6 交流で絆を育むまちづくり

首都圏をターゲットにした宣伝は
SNSや 大型スクリーンで

羽根田 ひとみ 議員

8年度のシティーマーケティング、仙台圏に加え首都圏をメインターゲットにした本町の魅力・情報の発信はどのような構想か。また、人気キャラクターホターのキーホルダーなどのグッズを作成してはどうか。

答 街中の大型スクリーンでPR動画を流す。YouTubeやインスタグラムなどのSNSでも発信する。また関東圏のテレビ番組で本町の魅力と桃のPRをする。

昨年ホターのロゴマーク入りポロシャツも好評であった。

グッズ制作に向けて取り組んでいく。4月のディスプレイキャンペーンのプレゼント用にも各種グッズを制作中である。

（仮称）歴史観光交流センターの名称は
施設にふさわしい名称を公募で

佐藤 武朗 議員

「（仮称）歴史観光交流センター」の来年4月オープンに向け、運営内容や方法、早期のネーミング決定についてどのような考えか伺う。

答 施設は観光案内や情報発信、地域連携による販売・休憩機能、歴史観光の常設展示を備え、現在申請中の国の交付金を活用したデジタルサイネージやARによる歴史資源の発信を進める方針です。運営は初年度を町直営とし、2年目以降は状況を踏まえ検討。ネーミングについては、施設にふさわしい交流人口の増加につながる名称を公募で決定する。



令和8年度一般会計予算 総括質疑

※総括質疑とは、一般会計及び特別会計予算案について町長等に総括的な見地から質疑を行うこと。

子どもを大切に まちづくり強化を

半沢 正保 議員

問 令和8年度より政府が小学校給食費の無償化を実施した。これまで町が負担していた小学校給食費の整理によって、どの程度の町財政に余剰が生まれるのか。また、余剰財源は、教育へのさらなる投資や子育て支援の充実、さらには財源確保など、どの分野に優先活用していくのか伺う。

答 国は、学校給食費負担軽減交付金として、小学生一人あたり月額5,200円、総額26,941千円を本町に交付する。この余剰財源は、小中

学校建設、町の財政は 守れるか

岡本 貴士 議員

問 歴史観光交流センターや義務教育学校の整備に伴う地方債の増発は、将来世代への負担となり住民福祉の予算を圧迫しないか。

答 センターの返済は令和9年度から毎年約1,000万円を見込む(20年間)。学校建設に関しては補助金を最大限活用するほか、文教施設建設基金に毎年1億5,000万円ずつ積み立て、開校までに約10億円を確保して建設費に充てる計画である。有利な地方債の選択や移住定住策による町税確保も並行して図る。健全な財政運営を維持しつつ、住民福祉との両立を断行していく方針である。

2年度にまたがる 事業予算計上は

鈴木 隆志 議員

問 令和8年度催事開催にあたって、令和

学生の一人1台のタブレット更新事業のために活用することになっている。

始球式は児童生徒を 優先に

羽根田ひとみ 議員

問 今年の楽天イーグルス観戦は休日の子供の参加が可能になった。ぜひ始球式で児童生徒にボールを投げる機会を与えては。

将来プロ野球選手・世界で活躍する選手になりたいという夢を持つ子どもが生まれる。マウンドに立つという体験は大きなきっかけとなると思うので公募の際は児童生徒を優先しては。

7年度予算で広報物を作成、配布し、チケット販売を行いながら、当該催事開催に係る経費を令和8年度予算で計上、本来一連の事業として一括予算計上するところ、なぜ年度を分けて計上したのか。

答 また、開催経費予算の裏付けがないまま事業を進め、開催者や購入者との契約を先行させることは予算執行上問題ないのか伺う。

地域おこし協力隊の 募集方法について

佐藤 武朗 議員

問 予算計上されている商業分野や空き家利活用の協力隊公募に関して、本町では既に桃農家を目指す隊員が「献上桃の郷」ブランドの継承や移住定住で大きな成果を上げて

答 本来の予算では休日のナイター観戦はできないことだが、楽天イーグルスの計らいで可能になった。子どもたちが喜ぶ参加型の企画とともに、始球式については、中学生以下の参加は可能なため十分に検討する。

地域おこし協力隊 委託事業について

川村 滋道 議員

問 地域おこし協力隊は2021年からスタートし今年で6年を迎え卒業された方は9人、本町在住者は8人だ。産地維持とブランド力向上に向けて頑張る地域おこし協力隊の潜在的な希望を本町でも把握をし、一緒に手伝ってほしい農家、さらには数年後には稲作を誰かに委託したいと希望している農家とのマッチングをすることに。よって、稲作農家や畑作農家の後継者問題に道筋をつけることにもつながると考えるがどうか。

いる。この成功事例を前面に出し、「献上桃の郷でのまちづくり」という共通の切り口で、各課バラバラではなく窓口を一本化した募集手法を取り入れてはどうか。

答 各部署で協力隊の必要性は認識しているが、広報や受付窓口を一本化することで、より戦略的な情報発信が可能になると考える。提言の趣旨を踏まえ、今後の募集方法について検討したい。

皆が幸せを実感できる 予算配分が

川名 静子 議員

問 町の課題は自主財源の確保と人口減少、超少子高齢化対策と考える。

答 町民のウェルビーイングをどう図っていく考えか。財源確保については「生食桃」以外の生産物の魅力を加味しサービス、体験等返礼品の開発に工夫する。人口増には出生数を延ばすことだが、子育て支援に一定の評価があ

答 農家所得向上のため、桃栽培だけでなく他分野の栽培により通念を通して収入確保は重要な事なので検討させていただく。



る事から若い世代の流入を図り魅力ある町づくりが必要だ。それと共に町民皆が元気でいきいきと健康寿命を延ばす事も、「住んで良かった」と桑折町を選んで頂ける施策を展開する。

義務教育学校ありき だったので

齋藤 松夫 議員

問 義務教育学校設置長が事前協議し「義務教育学校設置ありき」を進めたのでないか。秘密会での決

定もそのためなのではないか。会議録を公開したことで、秘密会の理由はなくなった。理由なく秘密会としたことは、「会議は公開とする」とした地方教育行政法(略)第14条に反し、「義務教育学校設置決定」の法的有効性に疑義が生じた。「小・中学校のあり方検討委員会提言」の時点に立ち返り、事務を再スタートさせるべきではないか。

答 法令に基づき進めているものである。教育長としては町長と事前協議はしていない。



3月定例会

●会期:2月27日(金)
~3月18日(水)

提出議案 審議採決

承認1件、条例制定2件、条例改正8件、その他1件、諮問1件、一般会計予算1件、特別会計予算3件、事業会計予算2件、陳情3件、発議1件

予 算

◆令和8年度一般会計予算

66億7,410万円
前年比:3,460万円の増(5.3%増)

◆令和7年度一般会計補正予算(第11号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,593万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億509万円とする。

承 認

◆承認第1号 専決処分の承認を求めることについて

内容:令和7年度一般会計補正予算(第10号)については、第51回衆議院議員選挙に係る費用を、令和8年1月20日に専決処分したことから、議会に報告し承認を求める。



条例制定

◆議案第2号 半田山森林環境整備基金条例

内容:半田山の森林環境の保全・育成並びに半田山自然公園の活用による地域振興に資する事業に要する資金に充てるため創設する。

◆議案第3号 特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

内容:子ども子育て支援法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の運営に関する基準を定める条例を制定する。

条例改正

◆議案第4号 行政手続条例の一部改正

内容:行政手続法の一部改正に伴い改正を行う。

◆議案第5号 議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

内容:公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙公営に係る単価が改正されたことから改正を行う。

◆議案第6号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

内容:報酬支払区分の一部見直しに伴い改正を行う。

◆議案第7号 職員の給与に関する条例の一部改正

内容:ラスパイレス指数の改善対策として、給与削減措置を実施するため改正する。

◆議案第8号 国民健康保険税条例の一部改正
内容:基礎賦課額(医療保険分)、後期高齢者支援金等賦課額、介護給付金賦課額に新たな「子ども・子育て支援給付金賦課額」が加わることから改正する。

◆議案第9号 桑折町火入れに関する条例の一部改正

内容:令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した林野火災を機に総務省消防庁において「林野火災注意報」が新設されたことを受け伊達地方消防組合においても令和8年3月から運用が開始されることから改正する。

◆議案第10号 半田山自然公園設置条例の一部改正

内容:バンガロー解体に伴い、対象の利用料廃止。併せて、その他の利用についても、実態に合わせて修正廃止をする。

◆議案第11号 道路占用料徴収条例の一部改正

内容:道路法施行令の一部改正及び県道路占用料徴収条例の一部改正に伴い改正する。

◆議案第12号 町道路線の廃止

内容:河川管理用通路において歩行者、自転車の安全確保の観点から関係機関と協議を行い町道の廃止を行う。

諮 問

◆諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

内容:次の者を人権擁護委員として推薦することについて議会の意見を求める。

住所 桑折町陣屋
氏名 渡邊 美昭

請願・陳情

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

(陳情者)
伊達市保原町字舟橋180
日本労働組合総連合会福島県連合会伊達地区連合会

議長 高橋 誠一

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

継続審査

◆東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情について

(陳情者)

福島市野田町字八郎内57-8

福島県を明るくする会

代表 嶋原 隆

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

不採択

◆補聴器の購入費助成を求める陳情書について

(陳情者)

福島市渡利字中江町66

福島県県北高齢期運動連合会

会長 齋藤 和衛

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

継続審査

発 議

◆発議第1号 アメリカとイスラエルの「先制攻撃」に対する抗議を政府に求める意見書(案)

原案否決(賛成3名 反対6名 欠席2名)

提出者 桑折町議会議員 川村滋道

賛成者 桑折町議会議員 齋藤松夫

臨時会

◇補正予算

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ1億5,851万円を追加し、総額68億8,073万円とする。

補正予算の主な歳入		
項目	補正額	適用
物価高対応子育て応援手当支給事業補助金	2,993万円	18歳以下の児童に応援手当として支給する事業
地方創生臨時交付金	1億2,858万円	物価高騰対策重点支援事業 ・公共施設・農業用資材 ・こおり生活応援券 ・民間放課後児童クラブ、認定こども園

補正予算の主な歳出		
項目	補正額	適用
地域開発事業費	80万円	町民研修センターエネルギー高騰対策支援事業
社会福祉総務一般費	501万円	福祉施設エネルギー高騰対策支援17事業所事業
物価高対応子育て応援手当支給事業費	2,993万円	18歳以下の児童1人あたり2万円支給事業
農業振興対策事業費	505万円	農業用資材等高騰緊急支援事業
商工振興対策費	1億1,700万円	こおり生活応援商品券発行事業
子育て支援事業	72万円	民間放課後児童クラブ及び認定こども園に対するエネルギー等高騰対策支援事業

一目でわかる 審議結果



結果報告のページへ

令和8年第1回桑折町議会臨時会（1月15日） ○全会一致で可決の議案

議案名	
議案第1号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第9号）

令和8年第2回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤謙	半澤高	川名静子	原賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛否の分かれた議案

議案名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤謙	半澤高	川名静子	議長	可否
議案第7号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号 令和7年度桑折町一般会計補正予算（第11号）	●	●	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	-	可決
議案第18号 令和8年度桑折町一般会計予算	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	可決
議案第19号 令和8年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	●	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
発議第1号 アメリカとイスラエルの「先制攻撃」に対する抗議を政府に求める意見書(案)	○	○	●	●	欠	欠	●	●	○	●	●	-	否決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	議案名
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて	議案第15号 令和7年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第2号 桑折町半田山森林環境整備基金条例	議案第16号 令和7年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
議案第3号 桑折町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	議案第17号 令和7年度桑折町半田財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第4号 桑折町行政手続条例の一部を改正する条例	議案第20号 令和8年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算
議案第5号 桑折町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	議案第21号 令和8年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
議案第6号 桑折町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	議案第22号 令和8年度桑折町水道事業会計予算
議案第9号 桑折町火入れに関する条例の一部を改正する条例	議案第23号 令和8年度桑折町下水道事業会計予算
議案第10号 半田山自然公園設置条例の一部を改正する条例	諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第11号 桑折町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	発委第1号 桑折町議会ハラスメント防止条例
議案第12号 桑折町道路線の廃止について	所掌事務調査報告について
議案第14号 令和7年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	常任委員会の閉会中の継続審査の申し出について
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし

賛成	議事	反対
<p>川名静子</p> <p>反対討論の内容は十二分に理解できる。しかし、子ども・子育て支援金制度は子育て世帯を社会全体で支えるため、全ての世代や企業が拠出した支援金をもって子育て施策の拡充に充てるものと理解し、この改正に賛成する。</p>	<p>議案第8号 国保</p>	<p>川村滋道</p> <p>2024年「子育て支援法」の改訂に基づき来年度から医療保険料に上積みして「子育て支援納付金」が徴収される。この施策の財源は、医療保険料を直上げして徴収する。子育て世帯への支援は重要だがそのための財源を医療サービスを削減したり医療保険料に上乗せして徴収するべきではない。従ってこの議案に反対する。</p>
<p>羽根田ひとみ</p> <p>①既に議会で可決されたことを進めなければ町はまわっていかない。町民説明会でも保護者の方より早く進めて欲しいという切実な願いがあった。当事者の思いを大切にすべきだ。これが止まったら誰が責任をとるのか。 ②現場で活動する中で発生した早急に直すべきものと必要とされるものと判断したので賛成する。</p>	<p>議案第13号 補正予算</p>	<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で反対。①秘密会での決定で法的疑義が生じた義務教育学校設置予算の計上。②このままいけば町民の不信感高まる。③登下校のあり方についても町民の合意が必要。これを先送りする事務執行は誤りだ。④人口減少時代の町の都市計画理念はコンパクトな町づくりだ。統合小学校の建設は醸芳小学校の場所で行うべきだ。</p>
<p>石幡政子</p> <p>新規事業の「歴史観光交流センター」の建設、「義務教育学校設置事業」5歳児検診等が盛り込まれている。特に、「義務教育学校設置事業」は教育環境の向上をはかる重要な事業であり子ども達のために粛々とすすめていただきたい。町政全体のきめ細かい計画の基、町民の健康と福祉の向上、町の発展を確保できる予算と捉え賛成する。</p>	<p>議案第18号 一般会計</p>	<p>川村滋道</p> <p>反対の理由は教育委員会の秘密会で決定された「義務教育学校」設置に関わる事務執行である。あり方検討委員会の提言は①小学校の統合は避けられない、②統合には義務教育学校や小中一貫校も視野にいれ議論すること、③保護者・地域住民・行政が一体となり、相互理解を深め決定することとある。会議録にはその議論が無いため反対する。</p>
<p>佐藤武朗</p> <p>本予算は、桃を中心とした農業振興や担い手確保、有害鳥獣・クマ対策など地域の安全と産業基盤を支える内容である。子育て支援、教育環境整備、給食無償化の継続に加え、脱炭素や観光施策も盛り込まれ、義務教育学校設置準備を含め、将来を見据えた総合的なまちづくりを評価し賛成する。</p>		<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で反対。①法的有効性に疑義、「あり方検討委員会提言」無視で町民合意を欠いた義務教育学校設置予算認めぬ。②民営認定こども園支援事業費は、事実上反する町長答弁をもとに進められた事業の延長での予算計上。③スーパー内自習室借上料並びに土地貸付料予算計上も同様。④中山間地道路改良予算が少なすぎる。</p>
<p>岡本貴士</p> <p>本予算案は、町民の郷土愛と共創の力を基盤に、農業振興と子育て支援を両立し、義務教育学校や交流拠点整備など未来への投資を着実に進める内容である。一方で大型事業が続く中、財政負担の増大が懸念される。ゆえに費用対効果の徹底検証と将来世代への責任を強く求め、本予算に賛成するものである。</p>		<p>齋藤松夫</p> <p>本意見書案には反対する。国際紛争は善悪で単純に判断できず、安全保障や国際法など多様な要素を踏まえる必要がある。地方議会が特定国のみを非難し抗議を求めるのは適当でない。他市議会は停戦等を求めているが本案は趣旨が異なる。核施設攻撃の禁止や対話促進、日本の橋渡し役など現実的対応こそ重要であり賛同できない。</p>
<p>川名静子</p> <p>町資料から令和8年度標準財政規模は昨年より増え概ね39億円程度と見込まれる中、事項別にみると教育費、民生費に約13億、総務費約11億、町民生活の安全安心が担保されているが、人口減少、少子化対策は待ったなしだ。危機感が伺えない、早急に取組むべき課題と申し上げ賛成討論とする。</p>		<p>半沢高</p> <p>反対の理由は次の3つ。①日本政府の立場がまだ明確ではない点。明19日以降に高市・トランプ会談が行われる予定であり、意見書提出はそれ以降とするべき。②イランの核兵器開発疑惑。イランが核兵器を持つようになった場合、湾岸諸国にとって脅威となる。③当問題を解決するために国連がもっと積極的に動くべきである。</p>
<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で賛成。①イランに対する「先制攻撃」は、まぎれもなく国連憲章と国際法に反する暴挙だ。③日本は平和憲法を掲げ、教育基本法は「平和で民主的な国家及び社会形成者」を育てるとしている。桑折町は「非核平和の町宣言」のもと、平和学習をすすめている。このような国、町であればこそ、意見書提出は必須である。</p>	<p>発議第1号 意見書</p>	



佐藤 武朗 議員

質問 5期目の出馬意向と町政方針は

答弁 町民と共に「花咲く未来」を目指す



中期基本計画の実現推進を（写真は総合計画の表紙）

質問 地区計画を活用した土地利用は

答弁 文教地区にふさわしい宅地開発

町長 開校に合わせてスケジュールを進めていきたい。

問 義務教育学校が令和12年4月開校に向けて、このエリアの活用に向けてどのように計画を進めるか。

答 町長 エリア内の道路整備を含む、概略地区計画の作成等について委託を実施した。

問 業務委託の検討結果は。

答 町長 釧路中学校西側エリアの土地利用について、地区計画制度等を活用して、周辺環境と土地利用の検討について次の点を伺う。

問 釧路中学校西側エリアの土地利用について、地区計画制度等を活用して、周辺環境と土地利用の検討について次の点を伺う。

問 本町は合併70周年を迎え、町長就任以降、東日本大震災や原発事故、コロナ禍、地震など多くの困難に対応してきた。近年は「住み続けたいまちランキング」で県内上位となり、施策の成果が見られる。今後は令和6年度策定の中期基本計画の実現に向け、町長選への出馬意思と町政方針を問う。

町長 町政を担って16年、桑折町は東日本大震災や原発事故、度重なる地震、コロナ禍といった未曾有の危機を町民と一体となって乗り越え、「献上桃の郷」として高い評価を得るまでに発展してきた。これは町民の郷土愛と支援の賜物である。今後は人口減少や超少子高齢化、自然災害、国際情勢の不安定化、デジタル社会の進

一般質問 という名の 政策提案



3月定例会は議員11名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。
※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質問事項
佐藤 武朗	① 町長の5期目出馬の意思と出馬の場合の町政方針について ② 釧路中学校西側エリアの土地利用計画について
岡本 貴士	① 4月開始、たばこ増税、その使い道は
沢野 保正	① 学校運営協議会の意義と、これまで設置されてこなかった理由について ② 義務教育学校設立を核とした教育政策・人口減少対策・財政運営について ③ 桑折町商工業の活性化に向けて行政が果たすべき役割について
斎藤 謙	① 長寿命化計画等に関して ② 小・中学校及び義務教育学校の設置等に関して ③ 財政運営等に関して
石幡 政子	① 学校教育における、質の高い教育の推進について
鈴木 志隆	① 熊出没に対する有害鳥獣対策と、住民の安全確保に向けた取り組みについて ② 公共施設や道路・上下水道等のインフラ整備の現状と、今後の方針について ③ 公共施設の不用品の処分方法と、有効活用・有償化の可能性について ④ 半田財産区廃止に伴う区有財産管理体制と地域への配慮について
川名 静子	① 義務教育学校開設までの期間にできる子供を第一に考える教育のあり方に関して ② 本町の子育て支援策は十分か、今、望まれる本当に必要な支援とは何か ③ 使いたいときに使えないトイレの役割りって何？
半澤 高	① 次年度の役場組織の改編、増強について ② 災害に対する「備え」について ③ 公共工事における騒音、振動、粉じんについて ④ 国道4号福島北道路の今後の進展について
川村 道	① 桑折町の教育行政について ② 義務教育学校設置決定関連について ③ 公立藤田総合病院の経営状況について桑折町としての対処について ④ 本町の農業の将来対策について
齋藤 松夫	① 昨年10月29日の教育委員会において、義務教育学校設置方針を決定したことについて ② 義務教育学校設置方針決定が、教育委員会規則第14条の秘密会で行われたこと等について ③ 町HP掲載の「公平公正」・「情報の公開と共有」・「グリーン」の基本姿勢について ④ 令和7年度の熊被害対策の到達点及び新年度に向かっての基本方針について
羽根田 ひとみ	① 猫をめぐる地域トラブルを減らす方法について ② 高齢者の自立生活の為にシェアハウス推進について ③ ふれあい公園内ピーチウィングの活用について ④ 郷土への理解と愛情を育てる教育について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。



おかもと たかし 議員 岡本 貴士

質問 タバコ増税の使い道について伺う

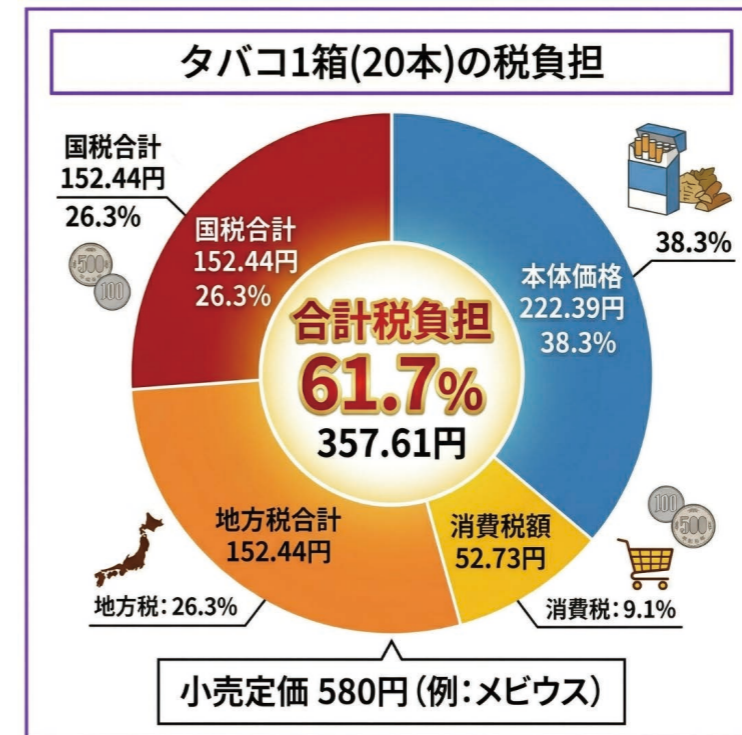
答弁 用途は示せない

問 令和8年4月から防衛力強化の財源確保を目的に、タバコ税の増税が2段階で実施される予定である。本庁における増税によるタバコ税収の増加見込み額、増収分の特定事業や分野への充当の考え方、「活き生きこおり健康プラン」に掲げる分煙環境整備や禁煙支援への活用可否、ならびに増税による収入の用途を町民にわかりやすく明示する方針があるかについて伺う。

答 町長 令和8年度は加熱式タバコの課税換算方式の見直しにより約164万円の増収が見込まれるが、喫煙率の低下に伴う約300万円の減収が上回るため、全体では約140万円の減収を見込んでいます。令和9、11年度の増税分は国税のみであり、市町村税率への影響はない。タバコ税は一般財源であるため特定の用途を示すことはできないが、「活き生きこおり健康プラン」に基づき、喫煙抑制および受動喫煙防止対策を引き続き推進していく。



財務省は、市町村たばこ税は96億円増と試算



もはや、税金を吸っている!?



はんざわ まさひろ 議員 半沢 正保

質問 新しい学校と公共施設の複合化を

答弁 基本構想策定の中で検討する



地域拠点の複合図書館イメージ

問 文部科学省「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」によると、学校施設と公共施設を複合化する動きが全国で進んでいる。公立小中学校等の複合化事例は11,450校で全体の39%を占めている。こうした動向を踏まえ、桑折の文教区・防災拠点として機能強化を提案する。

答 第一に、異学年交流や食育の充実、災害時の炊き出し拠点として活用できるランテールームの設置(給食センターとの接続)。

第二に、地域の学習拠点となるよう学校図書館と町図書館を統合。

第三に、学校行事に加え文化活動や講演会、地域交流にも利用できる文化ホール的な簡易機能を備えた第二体育館の多機能化。

答 義務教育学校については、財政状況を勘案しつつも「桑折ならではの教育環境を確保できるよう、基本計画策定の中で検討する。

質問 桑折町商工業の支援の強化を

答弁 課題をふまえ適切に支援していく



商店街の活性化のイメージ

問 商店街や既存事業者の活性化には、行政支援と事業者自身の努力の適切な役割分担が重要である。行政が関与・支援すべき範囲と民間の主体性に委ねる範囲をどのように整理しているのか。また、自立した地域経済に向けた行政支援のあり方を伺う。

答 町長 商業については、プレミアム商品券の発行を通じて、消費の喚起につなげるとともに、中小企業経営合理化資金制度などにより、事業者を支援する。また、来年度に整備する「(仮称)歴史観光交流センター」を通して、市街地への更なる集客を図る。

これも質問

問 統合型の学校運営協議会の早期設置を令和9年度に醸芳中学校に設置する



さいとう けん 議員 齊藤 謙

質問 長寿命化執行は町民の安全・安心

答弁 年度毎優先順位、適正な維持管理

問 西根堰は睦合地区松原から半田地区まで流れていて、しかも、半田、成田地区には活断層が奔っているので、早期に計画通りに進めるべきである。また、下堰である伊達崎は根岸地区から北沢地区まで、奔っていて福島県沖地震で生活道路に影響が出ているので、町民の安全安心に取り組み必要がある。なお、桑折町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の86%を占めているため、近い将来一斉に架け替え時期を迎えるのでは。

答 町長

桑折町橋梁長 長寿命化修繕計画を踏まえた個別計画に基づき、日常点検、定期点検を実施し、緊急性や劣化状況、利用状況等を勘案し、年度ごとに優先順位をつけ、適正に維持管理に努めている。

これも質問

問 地方債は実質公債費比率10%超危険性
答 IC周辺整備等公債費返済問題



いし はた まさこ 議員 石幡 政子

質問 IB教育の理念を学習に取り入れているか

答弁 探究型学習の取り組みを推進している

「義務教育学校」の内容については、児童生徒に、より質の高い教育に取り組むことができるかと期待している。「義務教育学校」設置に向け、ハード面と合わせて、ソフト面の「特色ある教育」についても取り組む内容を今から検討していく必要があると考える。そこで次の点について伺う。

問

近年、社会の国際化が急速に進む中で、学校教育にも「グローバルな視点」が求められる。更に質を高める教育について注目されているのが「国際バカロレア」IB教育というものがある。現状において、IB教育の理念に通じる探究的な学び特に「問を立てる学習」や「多角的に考える学習」をどの程度取り入れているのか伺う。

答

教育長

IB教育については、その特徴として「知識」より「思考」、そして「問い続けること」にあると理解

しており、本町においては、秋田県を参考に、「問を立てる」「多角的に考える」探究型学習の取り組みを推進しているところである。



総合学習の成果発表「半田祇園ばやし」

問

「義務教育学校」における特徴ある学習について、教職員配置や担当科目が流動的に可能であることで、より充実していくと捉えられる科目について伺う。

答

教育長

義務教育学校については、中学校教員の専門性を生かし、3年間以上の一貫した指導を行うことも可能となるため、子供たち

の学習意欲や習熟度が増すものと捉えている。また、小学校教員の得意とする教科を交換しあって専科指導をすすめていくことや、中学校教員と小学校教員のチームティーティングもできることから、芸術系や言語系の教科に限らず、子どもに育んでいくことが可能となる。



総合学習の成果発表「桃を使ったメニュー開発」



鈴木 隆志 議員

質問 インフラ整備に向けた今後の方針

答弁 財政負担を考慮して計画的に実施

問 公共施設や道路、上下水道等の更新や整備は、今後、一層高まることが見込まれることから、老朽化の現状把握と今後の整備は。

答 町長 特に道路や橋梁などのインフラの老朽化が進んでいることから、「桑折町公共施設等総合計画」を指針とし「個別施設計画」に基づき、財政負担の軽減・平準化を図りつつ、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に進めていく。

問 伊達地方衛生処理組合ごみ焼却設備等の運営等に関する協定書に基づき総額3億4千万円の地域振興協力を活用したインフラ整備の考えは。

答 町長 公益性の高さから町の振興や発展に寄与するものとして優先的に活用していきたいと考えている。



身近な生活道水路の早期整備が望まれる



川名 静子 議員

質問 公衆トイレの役割って何？

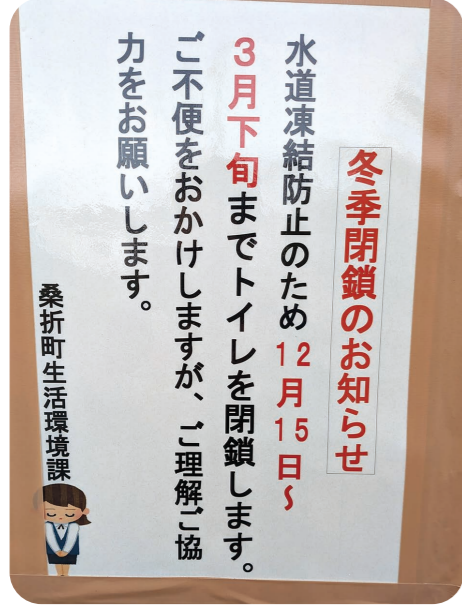
答弁 管理について神社と協議する

問 トイレは文化のバロメーターだ。本町を訪れ町内を回遊される方たちにとっても必要不可欠な場所だ。本町の数少ない公衆トイレのあり方を伺う。

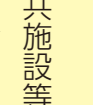
答 町長 来町者には消雪用のトイレを一部開放して頂いている。だが、諏訪神社のトイレは数年前から冬場は凍結するとの理由から閉鎖され町民から苦情が出ているが改善されない。8年度予定に文化財調査費、諏訪神社社殿調査事業が入っている。文化財を巡る方たちのコースに諏訪神社も入るであろうことから管理について町の考えを伺う。

問 諏訪神社のトイレは冬期間における遊具利用の頻度が低い事に加え凍結のおそれがある事から一定期間使用禁止としてきたが、管理について神社と協議してみる。

答 町長 諏訪神社のトイレは冬期間における遊具利用の頻度が低い事に加え凍結のおそれがある事から一定期間使用禁止としてきたが、管理について神社と協議してみる。



あっても使えない公衆トイレって何？



鈴木 隆志 議員

質問 半田財産区廃止後の森林整備は

答弁 桑折町森林整備計画に基づき実施

問 半田財産区がこれまで果たしてきた役割や、地域における意義は。

答 町長 昭和30年の町村合併以来、森林の保全や水源の涵養に努め管理してきた団体である。

問 半田財産区廃止後における町の森林の管理方針は。

答 町長 「桑折町森林整備計画」に基づき、森林資源の整備および保全を図っていく。また、半田財産区から無償譲渡された財産については「桑折町半田山森林環境整備基金」に全額積み立て、半田山の森林環境保全や育成事業の財源として活用していく。

問 半田財産廃止に際し、長年管理に威力してきた地域住民の労をどのように受け止め示していくか。

答 町長 半田財産区の果たしてきた役割に敬意と感謝の念を表し、将来にわたり、歴史ある功績を後世に伝えるべく、記念碑を建立し、顕彰していく。

これも質問

問 公共施設等で不用となった備品等の有効活用

答 インターネット販売について調査研究する

問 通学路や学校周辺の児童生徒の熊安全対策は

答 各学校作成の「熊対策マニュアル」で対応

これも質問

問 同世代での行動、経験で得られる人格形成は

答 縦割活動や他校との交流、地域を通して育む



議員 高 澤 はんざわ たかし

質問 林野火災にどう備えているのか

答弁 消防組合と共に未然防止に努める

問 昨年2月に発生した大船渡市の山林火災は、焼失面積が3,000haを超え多くの被害を出し平成以降最大の林野火災となった。その後も日本各地で林野火災が多発しているが、町では林野火災にどのように備えているのか伺う。

答 町長 林野火災については、一旦発生すると人的被害や財産被害が甚大に及ぶことから、大船渡の林野火災を契機に、伊達地方消防組合において林野火災注意報が創設された。町としても消防組合と共に管内における林野火災発生の際に未然防止に努める。また、消防団において中継送水等初期消火に向けた訓練を実施するとともに背負い式消火水囊を配備し、初動対応力の強化を図っている。



令和7年3月に岡山市で発生した山林火災の写真
【出典：総務省消防庁 HP】

これも質問

問 公共工事における騒音・振動等の対策は、施行者と情報共有し公衆環境の保全に努めているのか

答 令和8年度の町組織機構の改編はあるのか

答 これまで同様に対応していく



議員 川村 滋道 かわむら しげみち

質問 藤田総合病院の維持発展のために

答弁 赤字解消の経営努力を願いたい

問 近年の医療機器・器具、メンテナンス費用、食材費、給食費、光熱費などの高騰や人材採用費の増大、賃上げ対応等に伴う大幅なコスト上昇に対し、診療報酬の改定が連動し公立病院の経営悪化が顕著だ。公立藤田病院は令和6年度で8・4億の赤字だ。重点医療機関の危機は地域に混乱を惹起する。改善策について町長の所見を伺う。

答 町長 無くては困る病院だ。今議会の補正予算でも医療施設等物価高騰対策事業として1千万円の支出を決定した。構成する3自治体で合計3千万円の支援を決定した。しかし基本は病院として独自の経営合理化を行うことであり、患者を増やしたり様々な収入確保の手立てを考へることではないか。



経営改善が必要な公立藤田総合病院

質問 農業担い手確保の手立ては

答弁 組織設立の機運が高まらない

問 「どの農地を誰が将来耕作するか」が地域計画で示されていると思う。白地地域は太陽光発電業者も格好の場所としてアプローチがあるようだ。しかし今稲作している優良農地でもここ10年たらずに作れないという方が結構いる。地域計画で示されない稲作農家の要望をどのように把握されているのかまた、解消のために集落営農の考へはあるのか伺う。

答 町長 集落農業については、地域農業の維持につながる有効策として関心を示す農家はいるものの、農業経営体が多様化している現在、組織の立ち上げや運営体制の確立などが課題であり、設立の機運が高まらない状況にあると捉えている。



優良農地の北沢地区も後継者問題が

質問 国道4号福島北道路の進展は

答弁 今後ルート帯案が決定される予定

問 国道4号福島北道路については、福島河川国道事務所にてこれまで2回のアンケートを実施しており、昨年実施した2回目のアンケートでは「現道改良案」と「バイパス案」が示された。その後の経過を伺う。さらに今後の進展・展開について町長の考へを伺う。

答 町長 今後、国において開催される社会資本整備審議会道路分科会東北地方小委員会においてルート帯案について決定されると伺っている。私としては、率直に申し上げれば、バイパス案に決定いただき本町内において国道4号線と接続する事を強く望んでおり、伊達市・国見町とともに、国へ対し要望活動を毎年実施してきている。

これも質問

問 非公開の義務教育学校設置の議論は、公開を決定し3月にホームページで公開した

答 最初から義務教育学校ありきの提案では、多様な角度で様々な議論を行い決定した



齋藤 松夫 議員

質問 義務教育学校なぜ秘密会で決定か

答弁 自由闊達な発言機会確保のためだ

問 昨年10月29日の義務教育学校設置決定は、教育長発議による秘密会でのものであった。かかる重大案件、市民の重大関心事を「秘密会」で決定した理由は何か。「小・中学校あり方検討委員会提言」の末尾で述べている、「保護者・住民と行政間の相互理解」の趣旨を無視するものでないか。

答 委員の自由闊達な発言の機会を確保するため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定に基づき、非公開とした。市民説明会で齋藤松夫議員より「教育委員会規則で定めているのは非公開ではなく秘密会である」との指摘を受け、教育委員会で協議し、会議録を町ホームページにアップした。



羽根田 ひとみ 議員

質問 猫トラブルに寄り添った対応を

答弁 問題解決のためにアドバイス

問 猫の多頭崩壊が他界され地域の方々が困っている。また別件でも近所の猫問題で困っていると相談が来ている。この問題を解決するために3点伺う。

答 町長 (1) 飼い主の責務である。(2) マナー向上のため、猫の飼い方教室を開催してはどうか。(3) 相談窓口の明確化と問題解決の充実を図るべきと考えるが。



多頭崩壊した猫

これも質問

問 あり方検討委員会の3つの提言への理解は義務教育学校・小中一貫校を視野にと

答 公平公正・情報の公開と共有・クリーンは就任当初より基本姿勢を堅持して町政執行

質問

7年度の熊被害対策をどのよう評価し、新年度に臨む考えか。この対策強化のため、次の5つを提言し所見を伺う。

- ①町の北端から南端まで緩衝帯を整備する。
- ②これをベースに電柵による侵入防止柵設置。
- ③道路・沢などからの熊侵入察知のためのIoT機器の活用。
- ④管理体制強化へマンパワの確保。
- ⑤国の「熊被害対策パッケージ」の積極的活用による財源確保。

答

町長 熊の目撃情報一定の効果があったと捉えている。新年度は引き続き放任果樹の伐採、ヤブ刈り払いに加え、大規模な緩衝帯整備や熊用ドラム缶型捕獲檻購入、捕獲隊への処遇改善を実施する。



10年生の熊侵入防止の杉木立

杉木立ち構想 総括質疑で杉木立ち構想を提言 50cm間隔で植栽、摘心で2本だての杉に

質問 熊対策で緩衝帯等5つを提言する

答弁 緩衝帯整備等取り組み強化で対処

質問

一人暮らしの高齢者が増加する中「社会からの孤立」「生活意欲の低下」「詐欺」「孤独死」を防ぐためにシェアハウスは有効と考えるが。

答

町長 プライバシーを保ちながら自立した生活を送れるシェアハウスは、健康の変化や緊急時にも有効である。推進のため、近隣自治体と連携した居住支援協議会の設立が必要と考えるが。

答

町長 シェアハウスは、交流や緩やかな見守りが生まれ、孤立防止等に資する可能性がある一方で、入居者調整・プライバシー・健康変化・緊急時対応などの運営上の課題も想定される。

質問 高齢者の自立生活シェアハウスを

答弁 設置に向けた課題等研究する



甲子園を見ながらお茶タイム

これも質問

問 ピーチリパークを活用するために広く宣伝を

答 イベント会社やラジオ・テレビ・SNSで告知

問 郷土愛育成のため、地域行事への参加に協力を

答 地域コミュニティを大事にしていく

調査特別委員会

議員のなり手不足調査特別委員会 報告

委員長 川名 静子

「議員のなり手不足調査特別委員会」は新たに議員になれる方にとって魅力ある議会議員とは。また、どのような環境整備が必要か、様々な分野から課題を抽出し13回にわたり議論を続けてきた。今年度中に報告していく。改選を2年後に控え一人でも多く議員を目指し、手を上げる方ができる事を皆が望み議論に熱が入り、表題からズレてしまう事も度々？

これまでの調査項目をさらに絞り込み、議論を交わした項目は次の通りだ。

- 議会議員の環境整備について
- 社会保障の改善について
- 議会内容の情報発信について
- なり手の育成について

また、議員の職務に対する対価である議員報酬等については現在各議員の議会活動・議員活動時間を調査中である。

今後の予定は、先進地から講師を招き研修会を開催、議会報告会での意見交換。さらには皆さまへアンケート調査をお願いする計画になっている。

全国町村議会議長会表彰

令和8年2月6日開催の第77回全国町村議会議長会定期総会において本町議員が表彰されましたので、ご報告いたします。

○自治功労者

- (1) 町村議会議員として50年以上在職者

【名誉町村議会議員】

齋藤 松夫 議員

- (2) 町村議会議員として15年以上在職者

齋藤 謙 議員 佐藤 武朗 議員

受賞者を代表して、齋藤松夫議員より一言いただきました。



ご挨拶

齋藤 松夫

この度私たちは、全国町村議長会からの表彰の栄に浴すことができました。長年にわたりご指導ご鞭撻をいただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。私たちはこれからも、町民福祉の向上と町発展をめざしてまいります。

令和7年度 町村議会広報クリニック(議会だより編集の研修)

日時：令和8年2月20日(金) 13:00より

場所：東京都千代田区一番町 全国町村議員会館

対象：北海道～群馬県の町村議会広報担当者(議員及び職員)

講師：一般社団法人日本経営協会 中本正樹 先生

出席者：半沢正保 議員 石幡政子 議員 事務局職員

内容：

- 1 対話型研修会。テーマを与えられペアで情報交換をする。15分毎に座席を移動し、次々と話し合いを行った。これこそアクティブラーニング(主体的対話的で深い学び)であった。

- 2 こちら側が伝えたいことと住民が見るかどうか判断する順番

○こちら側が伝えたいこと：本文→リード文→タイトル→写真→レイアウト

○住民が見るかどうか判断する順番：レイアウト→写真→タイトル→リード文→本文

- 3 ポイント 住民の声を編集に反映する工夫が大切

住民の声の掲載とその答えとなる企画が大切

これから、みなさまに読んでいただける広報紙に変えていきたいと思っております。

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

少子化時代の学校教育のあり方に関して教育文化課長の招聘にて、義務教育学校設置方針決定に至るまでの経過、およびその後の進捗状況についての説明を受け協議を行った。

去る令和7年10月29日の教育委員会の秘密会とした理由について、内容はホームページに掲載している。(課長)

教育委員会の委員の発言は「自由な意見交

換」を確保するためという理由は、教育行政法第14条の7第1項で、教育委員会の会議を原則公開としています。

秘密会とできるのは、人事に関する事項、個人情報保護が必要な事項、公開により公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害されると認められる事項となっている。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

○活動報告

産業厚生常任委員会では、令和7年9月定例会以降、閉会中の調査事件として、伊達桑折IC周辺の農地利用における町農産物の知名度向上及び交流人口の拡大に関する調査を進めてきた。

この調査を前進させるために、IC周辺開発の成功事例である「アグリサイエンスバレー常総」整備事業を視察した。

また、令和8年3月定例会において付託された、福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める陳情並びに、補聴器の購入費助成を求める意見書については、本町の実態調査を行った上で、令和8年6月定例会で報告予定である。

○行政視察報告

令和8年1月29日、茨城県常総市(常総市役所、アグリサイエンスバレー常総)を視察しました。

アグリサイエンスバレー常総は、圏央道常総IC周辺の約45haの敷地に、「農地エリア」と「都市エリア」を整備し、生産・加工・流通・販売を一体的に行う産業団地です。

この事業は、行政と民間が連携して進める官民連携事業(PPP)として実施されており、行政・地権者・事業協力者の三者による協定のもと、それぞれの役割や強みを生かした事業運営が行われています。

市の説明では、本事業による地域経済への効果として、2,000人以上の雇用創出や年間約3億円の税収増加が見込まれているほか、農地エリアには3社の農業関連企業が進出し、年間約14億円の生産高が期待されている。また、都市エリアには年間300万人以上の来訪者が見込まれており、交流人口の拡大にも寄与しているとの説明を受けました。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

令和8年2月15日(日)13:30より桑折公民館2F小ホールにおいて、第2回議会モニター会議を開催した。「議会だより」をより多くの皆さまに読んでいただけるようにするための方策や町民のみなさんの興味・関心を議会に向けてい

ただく方策について、話し合いがなされた。議会モニターのみなさまよりご意見・ご感想の一部を28ページに掲載した。東京で開催された広報「議会だより」研修会の内容は、25ページに掲載した。

議会運営委員会

委員長 半沢 高

所掌事務調査事件である「議会基本条例第20条に基づく検証」について調査を行った。当調査事件は、令和5年改選直後より調査を行い令和6年3月定例会での中間報告を経て、今回が最終報告となる。

○これまでの経緯

・中間報告では、7つの改善点をあげているが、未だに改善されてない点があり、早急な対応が必要である。

・政務活動費の条項を加えた。(令和7年9月定例会にて条例一部改正)

・4年に一度の検証を2年に一度とし、その際に検証用のチェックシートを用いることとした。(議員全員によるチェックと当委員会でのまとめを実施した)

○今後の対応

・関連する実施要綱等の見直し。
・チェックシート上の評価法等についての検討。

【調査報告のまとめ】

議員一人ひとりが議会基本条例を読みこなし、議会活動に邁進することの重要性を再認識した結果となった。



議会活動状況報告

◀詳細は、こちらから

令和7年12月10日～令和8年3月18日

月日	活動状況	内容	対象者
R 7. 12. 18	議会全員協議会	○12月定例会の総括について	全議員
R 8. 1. 11	令和8年桑折町二十歳の成人式	○祝辞（議長）	全議員
R 8. 1. 15	議会全員協議会	○令和8年第1回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案内容の説明 ○義務教育学校の進捗状況について	全議員
R 8. 1. 15	令和8年第1回桑折町議会臨時会	○補正予算1件審議採決	全議員
R 8. 1. 25	「第72回文化財防火デー」令和7年度桑折町文化財防火訓練	○訓練観覧	全議員
R 8. 2. 5	議会全員協議会	○（仮称）桑折町歴史観光交流センター実施設計及び運用について	全議員
R 8. 2. 27	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明について ○令和8年度当初予算説明（議会管理運営費・監査費）について	全議員
R 8. 2. 27	令和8年第2回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告、町長施政方針・提案理由の説明、補正予算5件説明、新年度予算6件総括説明、発委1件（条例制定）審議採決	全議員
R 8. 3. 2	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 2	令和8年第2回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 8. 3. 3	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 3	令和8年第2回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全議員
R 8. 3. 4	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 4	令和8年第2回桑折町議会定例会	○一般質問（1名）	全議員
R 8. 3. 5	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 5	令和8年第2回桑折町議会定例会	○承認1件、条例制定2件、条例改正8件、その他2件（町道廃止、諮問）、補正予算5件審議採決	全議員
R 8. 3. 6	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 6	令和8年第2回桑折町議会定例会	○施政方針に対する質問 ○新年度予算常任委員会所管別説明	全議員
R 8. 3. 10	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 10	令和8年第2回桑折町議会定例会	○新年度一般（特別）会計予算常任委員会所管別質疑（総務文教常任委員会所管）	全議員
R 8. 3. 12	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全議員
R 8. 3. 12	令和8年第2回桑折町議会定例会	○新年度一般（特別・事業）会計予算常任委員会所管別質疑（産業厚生常任委員会所管）	全議員
R 8. 3. 13	桑折町立釀芳中学校卒業証書授与式	○式典	全議員
R 8. 3. 17	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について ○教育文化課からの補足説明について	全議員
R 8. 3. 17	令和8年第2回桑折町議会定例会	○新年度一般会計予算総括質疑 討論採決	全議員
R 8. 3. 18	釀芳幼稚園修了証書授与式	○式典	全議員
R 8. 3. 18	議会全員協議会	○令和8年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について ○追加議事日程について	全議員
R 8. 3. 18	令和8年第2回桑折町議会定例会	○新年度特別会計予算3件審議採決 ○新年度事業会計予算2件審議採決 ○追加議案審議採決	全議員

桑折町議会ハラスメント防止条例を制定



なぜハラスメント防止条例の制定に至ったのか

地方議会議員や首長（知事、市町村長）によるパワー・ハラスメントやセクシャル・ハラスメント等の問題がマスコミ報道により取り上げられ、表面化することが多くなった今日、桑折町議会ではハラスメントを未然に防ごうと制定したものだ。

なお、昨年7月25日に伊達郡町議会議員大会にて福島大学経済経営学類教授の吉高神明（きっこうじん あきら）氏の「地方議会におけるハラスメント防止に向けた取り組み：最近の事例を中心に」と題した講義を受けたのも条例制定の大きな契機となった。それによれば、地方議会には統一的なハラスメント防止の法体系が欠如しており、各々の議会でのハラスメント防止条例の制定が急がれるという内容であった。また、一般社団法人地方自治研究機構によれば、首長等や議員のハラスメントの防止に特化した条例は、令和7年12月末時点で172の条例が確認できるとしている。

本条例の主な枠組みは次のとおりである。

前文

ハラスメント防止条例制定の意義について記したものだ。

目的

第1条に、議員による職員及び議員へのハラスメント、職員の議員へのハラスメントを根絶するため必要な事項を定めることにより、すべての議員及び職員が人としての尊厳を尊重し、良好な職場環境を確保することを目的とする。

定義

第2条に、パワー・ハラスメント等の定義を示している。なお、パワー・ハラスメントに関して、「ただし、客観的に見て業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な指導又は業務指示は、パワー・ハラスメントに該当しない」としている。

議長の責務

第3条に、議長の責務として、申出等があったときは必要な措置を迅速かつ適切に講じなければならないとしている。また、第4条には議員の責務を規定している。

相談窓口

相談窓口は、議会事務局になる。よってハラスメントの被害を受けたと思料する議員、職員は議会事務局に申し、議長が調査・対応することとなる。

対応措置

議長は、ハラスメントを確認した場合、改善のための措置（指導、助言、注意等）を講ずる。

研修等

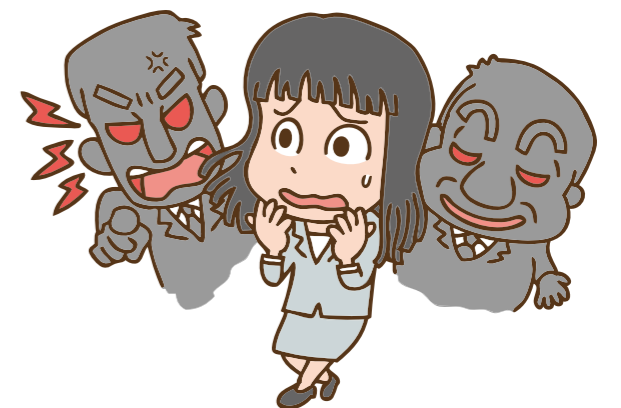
議長は、本条例の趣旨について町民への周知・啓発に努めるとともに、議員に対して必要な研修等を実施する。

被害者のプライバシーの確保

ハラスメント被害者のプライバシーの確保に十分配慮する。

条例の施行はいつから？

本条例案が議会で可決された2月27日からとなる。なお、ハラスメントを未然に防ぐという目的により定例会初日の審議採決とした。



令和7年度議会モニターの皆様からいただいた感想

議会モニターの主な活動は、「議会だより」をご覧ください、ご意見・ご感想を寄せていただくことです。また、議会モニター会議を開催し、意見交換することで、議会への理解を深め、よりよい町にしていこうとするものです。

令和7年度議会モニターの皆様、活動にご参加いただき本当にありがとうございました。



伊藤 和磨

一般質問という名の政策提案、好きなコーナーです。質問にあたる部分が一目でわかりづらい箇所がありました。

- 動画 URL がついているのはよい。
- 全体的に見やすいと感じた。



片平 光義

「議会だより」も「こおり広報」のように LINE 等で見られるようにしてはどうか？ 質疑等、各議員 1 ページ取ってあり読みやすくなっております。



加藤 やよい

- 内容を要約して読みやすくする。
- 「議会だより」の配付に関して、デジタル配付に将来は全面移行してほしい。



齋藤 忍

限られた紙面で沢山の内容をどう表現するか、試行錯誤している様が見える。
議会メインテーマが何か、一目で分かる工夫があるとよい。



佐藤 高広

- イラストの挿入を増やす。
- 議員の具体的な仕事の事例を取り上げて、今後の議員のなり手不足の対応につなげる。



中田 巧

- 若い世代にも興味を持ってもらえる紙面にしてほしい。
- 議会からの提案が実現したことをもっと強調した記事があると良くなる。



平野 隆幸

「議会だより」は、どんどんアップデートされていて素晴らしい。それでも町民の関心が無く、手にとってくれなければ意味が無いので、町民の町政に対する意識改革を促す活動も必要。



松浦 駿

- 地区ごとの政策を載せてほしい。
- 町民アンケートのコーナー新設
- 年代毎のアンケートの実施集計
- 隠し事のない「議会だより」の継続
- もっと見やすい「議会だより」に！

編集後記

去る4月18日、春爛漫の午後、旧伊達郡役所でクラシックコンサートが開催されました。創立100周年を迎えたN響メンバーによる弦楽三重奏が、木の香りが漂う会場に美しく響きわたり、胸の奥まで染み渡るアンサンブルに感動した午後でした。

日本が誇るトッププロN響のネームバリューは最強で、遠方から来場者された方もいたことは、桑折町を知って頂く良い機会となったと思います。

「音楽はこころのくすり」と言われることも…。この日、歴史と文化の町こおりを彷彿させる会場で、癒しのひと時を多くの皆さんとご一緒できたことを嬉しく思います。

石幡 政子

まちなぎ

— 芸術と文化の香り高く —
「N響メンバーによる春の音楽会」 in 旧伊達郡役所



● 広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 佐藤 武朗 委員 齋藤 謙

こおりまち
議会だより

令和8年5月8日発行
発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会
電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社